

我が家の子育て

事務 大場 かおり

私は、永井医院へ勤務して今年で12年目になります。私の子育ては、毎朝私の出勤と共に、3人の子供達を実家に預け、そこから2人は幼稚園へ通園し、私の帰宅と共に自宅へ帰宅する毎日です。これも、町内外の患者さんの笑顔やスタッフの皆さん、母の子守に支えられ、3人の子育てをしながら勤めることができるのだと思います。

3月生まれで5歳の遼斗（はると）は、今時には珍しい土いじりが大好きな息子です。幼稚園からの帰宅と共に、年寄りじいちゃんが畑仕事をしている畑に行き、肥料（牛糞）をちらしたり、苗木を植えたり、野菜を収穫したり…。また、田植えや稲刈りを手伝いたいと言って朝から晩まで田んぼで手伝いをしたり。私も経験した事のないことをやりたいと言って、楽しんでやっています。畑仕事以外にも、今年の夏には自転車の補助輪を外し泣きながら練習をし、1人で乗れるようになりました。

1月生まれの4歳の愛歩（まなほ）は、我が家で唯一のお姫様。私も顔負けなぐらいに、おしゃまで、じょうぜつに兄や弟を叱ったり、弟の面倒をみてくれたりします。昨年から兄と幼稚園に行き、給食が食べれないと泣いていたこともありましたが、自宅ではギャル曾根ちゃんのように大食いなんです。そんな愛歩も昨年、近所のお店まで兄と一緒に手をつないで歩いて「初めてのお使い」を体験しました。近所までの道のりとはいえ、テレビ番組さながらで子供達が帰宅するまで不安なのは私だけ!?「ただいまっ」と大きな声が聞こえ胸がジーンとしました。2番目ともなると兄ができれば、“自分もできる”という意気込みがあるようで、これからがとても楽しみです。

12月生まれの2歳の皇明（こうめい）は、一番好奇心旺盛で、ヘンクサムシなんか怖くない!?指でつまみあげています。また、自分も兄や姉がすることを何でもマネをし、一緒に回ります。今は、幼稚園に行くことに憧れ、兄や姉のカバンを肩からかけ帽子をかぶっては「けっけっけっ」と笑いながら走り回っています。また実家から自宅へ帰宅する際は、我先に靴を履き、玄関先で兄と姉の靴をそろえ「に一、に一」「まー」と呼んで、まるで小さなお母さんのようです。

三人三様の子供達に囲まれ、子供達に教えることもある。子供同士で学びあうこともある。これからも自然の中で伸び伸びと、子供が進んでやりたいということをやらせてあげようと思います。これが我が家流です。

